

のぞみ園

令和7年度(2025年度)事業報告

1, 運営方針

- (1) 利用者の人権と尊厳を守り、一人ひとりの個性、特性に応じた支援を行い、利用者が地域で働き、暮らすことができることを目指す
- (2) 利用者及び保護者のニーズの把握に努め、効果的な支援に努めるものとする
- (3) 利用者の保護者、関係機関、地域との連携を図り、利用者の自立を目指した運営に努めるものとする

2, 職員等配置

- ・ 正規職員 13 名
- ・ 正規職員以外 9 名（非常勤職員 7 名 嘱託医 2 名） 合計 22 名

3, 利用者受入等・平均工賃 *日数・%等は前年同期比

定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率		利用率	
50 名	239 日(±0 日)	12,040 名	50.4 名	100.8%	+0.3%	90.0%	+1.8%
平均工賃月額		54,901 円	前年度平均工賃月額	53,323 円	増減	+1,578 円	

※平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数（小数点第2位切り上げ）

※稼働率＝延べ利用者数÷（定員×開所日数）（小数点第2位四捨五入）

※利用率＝延べ利用者数÷（在籍数 56 名×開所日数）（小数点第2位四捨五入）

*新規利用者 0 名

*退所者 1 名

4, 重点目標に対する取り組み状況

第5次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
Ⅰ 面的支援体制整備の推進					
Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進					
1	利用者のニーズを合わせたサービスの提供	内容	(1) 利用者が落ち着いて過ごせる環境と力が発揮できる活動の提供 ⇒・利用者のニーズや特性に応じた作業場の提供 ・利用者の長所や得意なことを活かせる活動の提供 ⇒・(公財)大田区文化振興協会の福祉施設とアーティストをつなぐプラサート(＋ART)プロジェクトに参加。新しい自主生産品の開発に向け、デザイナーとの打ち合わせとシルクスクリーンのワークショップ(利用者参加)を実施。 (2) 余暇、楽しみの充実	通年 通年 6 回	10 名

			⇒・希望のクラブをききとり、卓球・文化・軽スポーツ・太鼓の4つのクラブを編成 ・定期的に対抗戦を実施（卓球クラブ・太鼓クラブ） ・特別講師を招いた練習を実施。お祭りでは新曲披露。（太鼓クラブ） ⇒・区民ギャラリー、パネル展、文化展での作品展示、お祭りでの作品販売に向けた創作活動を実施（文化クラブ） ⇒・特別活動にて、生活班対抗の卓球大会、ボッチャ大会（全員参加型）、利用者自治会企画の年忘れ会（ビンゴ大会）を実施 ⇒・生活班別1日外出（羽田空港）を実施	4月～ 通年 9/24・10/19・11/8 通年 9/3・12/25・2/4 7回	56名
第5次経営改革プラン項目 Ⅱ 地域に根ざした公益的な取り組みの推進				回数・日付	人数
2	地域交流の活性化	内容	（1）地域住民との交流の場の検討と、仕組みづくり（施設祭り含む） ⇒・地域祭り（第12回いつつのわふれあい祭り）実行委員会・出店者会議の参加 ・第12回いつつのわふれあい祭りに参加（太鼓クラブ発表、自主生産品（アクセサリ）の販売） ⇒・第25回いつつのわ幸陽祭開催における運営委員会の実施 ・第25回いつつのわ幸陽祭の実施（つばさホーム前の浦と協働） ⇒公益活動・余暇PT（わっしょいず）の取り組み「お休み処」に協力し、アクセサリや法人内自主生産品の販売に利用者が参加 ⇒地域自治会行事挨拶、近隣施設行事に参加 ⇒地域力推進大森東地区委員会に参加 ⇒・デフリンピック応援イベント（大森東特別出張所主催）に協力 ・まちたんけん、おおたの未来づくり授業（大森第四小学校）に協力 （2）地域へ向けて活動を広げる ⇒職員による近隣バス停の見守りを実施 ⇒特別活動にて、「いつつのわ！健康ウォーキング&魅力再発見マップ」を基にしたウォーキングの実施 ⇒アクセサリ外販（育成会バザー・むつみ会バザー・いつつのわふれあい祭り出店） ⇒子ども食堂「moi!」のイベントに協力（バナナの寄付）	9回 10/19 2回 11/8 7月～ 5回 3回 1回 3回 通年 5/28 7/21・10/10・10/18 1回	1名 延べ25名 延べ5名 1名 2名 延べ3名 利用者50名 職員12名 延べ7名 1名
第5次経営改革プラン項目				回数・日付	人数

IV 福祉人材の確保・育成・定着					
3	人材育成とチームワークの醸成	内容	(1) 事例を通した利用者理解の促進 ⇒アセスメントを深めるピア事例検討会メンバーとして参加し、事例検討を実施。 ⇒モニタリング、個別支援会議、合議会議を実施し、多角的な視点から利用者理解を深め、チーム内での共通認識の形成と支援の質の向上を図った。 (2) 職員のコミュニケーションの活性化、支え合えるチーム作り ⇒日々のコミュニケーションや朝・夕礼での報告による利用者の様子や作業状況の情報共有と職員の相互理解を推進 ⇒ケア会議時に「にやりほっと」(利用者のよいところやできるところに目を向け、エピソードを共有する取り組み)を出し合い、職員同士の気づき合いを実施 ⇒受注作業の進捗状況、納品日時等を職員間で共有・可視化し、協力の取り組み継続	8/20 9月、1～3月 通年 7月～ 7月～	14名 56名 10名
第5次経営改革プラン項目 V 社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤				回数・日付	人数
4	安定的な事業所運営	内容	(1) 法令遵守の徹底 ⇒会議にて要綱や指針を確認 (2) 業務効率化の検討(働きやすさに向けた取組) ⇒・会議の目的、議事を明確にし、時間を意識して実施 ・職員の日直勤務体制の見直しによる時間外勤務の解消 ・「こころの耳ストレスチェック」の実施	随時 随時 9月～ 2回	

5. 年間行事実績

4月	利用者自治会選挙	10月	第12回いつつのわふれあい祭り
5月	特別活動(ウォーキング)	11月	第25回いつつのわ幸陽祭
6月	宿泊訓練(伊豆方面)	12月	特別活動(利用者自治会企画・年忘れ会)・利用者歯科検診
7月	なし	1月	生活班別1日外出(羽田空港)
8月	なし	2月	生活班別1日外出(羽田空港)・特別活動(ボッチャ大会)
9月	特別活動(生活班別対抗卓球大会)・利用者健康診断	3月	生活班別1日外出(羽田空港)・送別会(利用者自治会による)

6. 福祉人材の確保・育成・定着

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	(1) サービス提供ガイドライン、各種業務標準を活用して新キャリアパスに応じたOJTの実施		

		⇒・ミドルスタッフ昇格者対象研修 ・新任職員ブラッシュアップ研修 (2) 職場内研修の計画実施 ① サービス管理、障害特性・支援技術等 ② 虐待防止・権利擁護関連 ⇒・原点研修、虐待防止・権利擁護研修 ・東京都虐待防止権利擁護研修受講 ・事業所内虐待防止権利擁護研修の実施 ③ 危機管理・防災・応急救護等 ⇒・保護者向けマイ・タイムライン作成講習会 ⇒・さくら連絡網（クラウド型連絡網アプリ）を活用した職員向け訓練の実施 ④ 感染症対策・保健衛生等 ⇒感染症対策研修「環境整美」、「福祉施設における感染対策」の実施（サラヤより講師を招いての講習）	7/15 8/22・ 11/27 6/6 9/11 3回 9/4 1回 7/10・ 11/18	2名 1名 1名 全職員 利用者1名 保護者2名 職員1名 13名・ 11名
2	外部研修	(1) 職層・職員個別ニーズに合わせた受講計画と実施 ① 障がい特性 講座 ② リスクマネジメント 講座 ③ 利用者支援・技法 講座 ④ 福祉サービス・制度 講座 ⑤ 経営・運営 講座 ⑥ その他 講座	0回 4回 3回 3回 6回 7回	0名 3名 3名 3名 6名 7名

7. その他特記事項

・寄付2件

以上